



# ちぎゅう 見聞録

～ 香大生 around the world ～

佐々木悠介  
さんは  
見た!

## Vol.27 フィリピン～セブ島



セブ島といえば、「リゾート地」というイメージ通り、海の透明度はピカイチです。週末は海に出かけ、日々のストレスを発散するというのがセブ島留学の魅力の一つです。海の生き物も多様です。ニモで有名なカクレマノミはもちろん、ジンベイザメやウミガメと一緒に泳ぐこともできます。写真のような船に乗って島々を移動しながら遊ぶアイランドホッピングがセブ島では大人気です。船の上で食事を取ることでも、マンガを食べながら南国気分を満喫することができます。

- 【面積】 30万km<sup>2</sup>
- 【人口】 約1億98万人
- 【首都】 マニラ
- 【言語】 公用語はフィリピン語と英語



フィリピンの伝統料理は様々なものがありますが、一番衝撃を受けたのがこちら...「レチョン」と呼ばれる豚の丸焼きです。この肉を一口サイズに切り、お酢や醤油につけて食べます。見た目は裏腹に皮はパリパリでお肉はジューシーで美味しいです。子豚なので、肉も柔らかく食べやすい。

レチョンはフィリピンの行事にはなくてはならない存在で、誕生日パーティーやクリスマスパーティーなどでよく登場します。



マネージャーには日本、韓国、中国、台湾、フィリピン、タイ、ベトナム、サウジアラビア、モンゴル、ウクライナ、ロシアなど様々な国籍の人々がいます。もちろん、共通の言語は英語です。勤務中はもちろん、何気ない会話も英語です。そんな環境だからこそ苦労や楽しさがあり、とても充実しています。週末はみんなでアイランドホッピングに行ったり、お酒を飲んだりして楽しく過ごしています。



◎教育学部中学校教育コース4年  
◎2019年4月から2020年3月まで  
フィリピン・セブ島で留学とインターンシップ中



留学生活はSMEAGという語学学校から始まりました。この教育はスパルタ式で、朝の7時から夜の9時までみっちり授業が行われる環境があり、さらにマンツーマン式がメインのため、シャイな僕も着々と英語力を伸ばすことができました。

この学校を卒業後、CELLAという別の語学学校に移りTESOLという英語教授法の資格を取得するコースを受講しました。

TESOLを取得後は再びSMEAGに戻り、学生マネージャーとして働いています。様々な国籍のマネージャーと連携を取り、学校運営を行っていくのは大変ですが、とてもやりがいを感じています。

